

単元デザイン

乗法が用いられる場合や乗法九九について考察し、乗法の意味や性質、倍の意味を理解し、それらを用いる力を育てる。

既習	導入		中盤		終末		発展
	時	学習活動	時	学習活動	時	学習活動	
※割合につながる倍の見方・考え方の系統 1年 数の大きさを数える。	乗法の意味理解～かけ算のメガネをもつ～		九九の構成、暗唱、適用		九九の表ときまり、倍とかけ算、活用問題		※割合につながる倍の見方・考え方の系統 2年 かけ算の導入 3年 わり算の導入 4年 倍の考えを広げる 5年 倍の考えを×小数÷小数に拡張する。 6年 倍の考えを×分数÷分数に拡張する。 中1 負の数 一次方程式 中2 一次関数 連立方程式 中3 二次関数 二次方程式
	1	袋の中に入っている団子の数を考える場面から、かけ算の定義をもとに団子の数を整理する。(・思①：発言、ノート)(・態①：ノート、発表)	8	5の段の九九の構成の仕方を理解する。 ・ $5 \times 1 \sim 5 \times 20$ →かけ算には終わりがなく続くことを体験。 $\times 9$ までの九九だけ覚えると便利(・知②：発言、ノート)(○思②：発言、ノート)	34	九九表を完成させる。それぞれの段ごとの表を貼り合わせて、九九表を完成。(○知⑤：発言、ワークシート)(・態③：ワークシート、発言)	
	2・3	遊園地の絵から同じ数のまとまりがいくつ分か表現する。 1 つ分の数 \times いくつ分=全部の数 (○知③：発言、ノート)	9	5の段の九九を確実に唱え、適用することができる。式と九九は、言い方が違うことに気付く。(・知⑤：発言、ノート)			
	4	かけ算の式からその場面をおはじきで表す。おはじきの場面からかけ算を考えたり、友だちと問題を出し合ったりしながら乗法の意味を深める。(○思①：発言、ノート、操作)	10	5の段の暗唱をする。 (上り九九と下り九九、バラバラ) 適用問題を解き、九九を活用する。(○知⑤：発言)	35	九九を数直線に表す。 ・1つしかない九九は、どれもかけられる数とかける数が同じになっている。 ・九九の答えは36種類。 (○思②：発言、ワークシート)(・態：ワークシート、発言)	
	5	ばらばらに置かれた団子を串にさして並べて表現する。1つ分の数を自分で考えて設定し、いろいろなかけ算で表したり、かけ算の式で表せない場面と整理したりする。(○思①：発言、操作、ノート)(○態①：ノート、発表)	11～19	2,3,4の段の九九の構成、暗唱、適用 (○知②⑤発言、ノート)(○思③：発言、ノート)(・態③：ワークシート、発言)			
	6本時	14cmの3つ分の長さを求める場面。14cmのものが伸びて42cmになったものが「14cmの3倍」といえるかを考えさせる。分離量の問題から連続量でも乗法の式に表す。(○思①：発言、ノート)	20～22	5,2,3,4の段のかけ算九九を振り返り、かけ算の答えの中からきまり(被乗数の分配法則、交換法則)を見つけ、これから学ぶ他の段のかけ算への興味ももつ。 5,2,3,4の段の適用問題を解く。 (○知④：発言、ノート)(・思②：発言、ワークシート)(・態③：ワークシート、発言)	36	九九表を拡張する。 ・かけ算のきまりを使って九九表を拡張する。 (○知⑥：発言、ノート)(○思④：発言、ワークシート)(○態④：ノート、発言)	
	7	身の回りの場面からかけ算の式になるものを探す。(・思③：発言)(○態②：ノート、発言)	23～25	6の段の九九の構成、暗唱、適用 ・同数累加の考えで答えを求めることができる。 ・かける数が1ふえる(へる)と、かけられる数だけ答えがふえる(へる)。(乗数と積の関係) ・かけられる数とかける数を入れ替えても答えは同じ(交換法則) ・既習の九九を使って分配法則も活用する。 (○知④⑤：発言、ノート)(・思③：ノート、発言)			
	期待する振り返り ・同じ数のまとまりを見つけるとかけ算の式に表せる。 ・1つ分の数(量)といくつ分が分かれば全部の数を求められる。 ・1つ分をどこにするかで見方(かけ算の式)も変わる。 ・たし算でかけ算の答えを求めることができる。 ・かけ算の式をおはじきで表せた。 ・式をみると、どんな場面かも分かる。 ・倍もかけ算で表せる。 ・1つのものが伸びた時でも倍と言え。	26～28	7の段の九九の構成、暗唱、適用 連続量の問題場面。倍の見方も意識して取り扱う。(○知④⑤：発言、ノート)(・思③：ノート、発言)	38	活用問題を解く。 (○知⑤：発言、ワークシート)(○思③：ワークシート、発言)		
		29～33	8の段→9の段→1の段 九九の構成、暗唱、適用 (○知④⑤：発言、ノート)(・思③：ノート、発言)		39、40	学習のまとめをする。 (○知①～⑤：発言、ノート)(・思①～④：ノート、発言)	
		期待する振り返り ・今まで見つけたきまりは、どの段の九九にも使える。 ・九九の答えは、全部で36種類。 ・かけ算のきまりを使えば、かけられる数やかける数が9より大きいかけ算の答えも求められる。 ・同じ○倍でも長さが違うことがある。何をもとにするかによって変わる。 ・同じ数ずつのまとまりを見つければ、かけ算になるから、身の周りのものでかけ算を使っていきたい。	期待する振り返り ・□の段は□ずつ増える。答えに□を足したら、次の式の答えが分かる。 ・かける数が1増えると、答えはかけられる数だけ増える。 ・かけられる数とかける数を入れ替えても答えは同じ。(交換法則) ・7の段は、3の段と4の段を合わせても答えが求められる。 ・かけ算のきまりを使えば、習っていない九九も作れる。				

単元デザイン

乗法が用いられる場合や乗法九九について考察し、乗法の意味や性質、倍の意味を理解し、それらを用いる力を育てる。

既習	導入		中盤		終末		発展
	時	学習活動	時	学習活動	時	学習活動	
1年 『おおきいかず』 ・2ずつまとめて数える ・5ずつまとめて数える 『ながさくらべ』 『広さくらべ』 『かさ』 ・基準量を決めて、そのいくつ分で数える	1次【かけ算ってどんな計算?!】		2～4次【九九づくり①】【お話づくり】【九九づくり②】		5～6次【九九のきまり】【習熟】		2年 『倍と分数』 3年 『かけ算』 ・分配法則 ・交換法則 ・0のかけ算 ・筆算 『わり算』 ・除法の意味 ・“もとにする” 4年 『わり算』 ・余りのあるわり算 ・除法の性質 『小数』 ・小数倍 ・小数の意味 ・小数の加減 『分数』 ・分数の意味 ・同分母の加減 『簡単な割合』 ・“1とみる” ・“○にあたる” ・“割合” 5年 『小数の乗除』 ・小数乗法の意味 ・小数除法の意味 『分数』 ・除法の結果 ・等しい分数 ・分数の意味 ・異分母分数の加減 『割合』 ・単位量当たり ・割合
	1	問題場面か 同じ数 に注目し、かけ算の有用性を実感する。 「どちらが数えやすいかな？」 (○態①：発表、ノート)	7	2の段の九九の構成の仕方を理解する。 「お寿司の数は何個ずつ増えていますか。」 (○思②：ノート、発表)	26 ～ 27	乗数と積の関係や、乗法の交換法則についての理解を深める。 「かけ算のきまりをまとめよう。」 (○知④：ノート、発表)	
	2	イラストから同じ数を探し、 1つ分、いくつ分、全部の数 、でかけ算の式として表す。 「場面を式に表そう。」 (○思①：ノート、発表) (・態②：発表)	8	2の段の九九を唱え、運用する。 「2の段の九九を覚えましょう。」 (○知⑤：ノート、発表)	28	基準量が異なると、同じ○倍でも比較量が異なることを理解する。 「3倍の長さはどうなるでしょう？」 (○思②：ノート、発表)	
	3	かけ算の場面、式を見ておはじきで表す①。 「場面や式をおはじきで表そう。」 (知①：ノート、発表)	9 ～ 15	3の段→4の段→5の段→1の段 ※身に付けた九九を使って新しい九九をつくっていくようにする。 (○知⑤：ノート、発表) (○思④：ノート、発表) (○態④：発表)	29	1つ分といくつ分を見つけて、乗法を使って問題を解決する。 「箱の中のチョコレートはいくつ？」 (○思③：ノート、発表) (・態②：発表)	
	4	かけ算の場面、式を見ておはじきで表す②。 「場面や式をおはじきで表そう。」 ※1つ分といくつ分の前後逆問題とアレイ図 (・知③：ノート、発表)	16 ～ 17	1つ分といくつ分の関係で全部の数が決まるということを確認する。 「お話づくりをしよう。」 (○思③：ノート、発表)	30 ～ 31	学習内容の定着 「練習問題」 (○知⑤：ノート、ワークシート)	
	5	問題場面をかけ算で立式し、 同数累加 で答えを求める。 「1箱にお菓子が6個ずつ入っています。4箱ではお菓子は何個になりますか。」 (・知②：ノート、発表)	18 ～ 25	6の段→7の段→8の段→9の段 ※身に付けた九九を使って新しい九九をつくっていくようにする。 (○知⑤：ノート、発表) (○思④：ノート、発表) (○態③④：発表)	期待する振り返り ・九九表の9の段は一の位が1ずつ減っている。 ・8の段は一の位2ずつ減っている。 ・九九表を見て、たしたり引いたり、位で見たりするときまりが見つかる。 ・同じ3倍でも1つ分の数が違ったら全部の数が変わる。 ・3倍と4倍どっちが大きいかは1つ分の数で決まる。 ・同じ数のまとまりに注目すればかけ算が作れる。		
	6 本時	かけ算のいくつ分を 倍 と表せることを知り、基準量と比較量の関係に気付く。 「4cmのゴムをのばして12cmにしました。長さは何倍ですか。」 (○思①：ノート、発表)	期待する振り返り ・○の段は○ずつ増えている。 ・5の段は4の段の下に1個増えている。 ・7の段は5の段の下に2個増えている。 ・1つ分といくつ分を見つめることが大事。				